ユニットガーデン シェードテーブルプラン2・3

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●Tーブロックの施工に関しては「取付説明書＜B046＞Tーブロック ラテル＆ウォルズ縮刷版」を、Tーブロック乾式施工部材の施工に関しては「取付説明書＜B048＞Tーブロック ラテル＆ウォルズ乾式施工部材（埋込用）」をご参照ください。

■梱包明細表

1 本体セット

名称		シェードテーブルプラン2	シェードテーブルプラン3
T-ブロック（ラテル&ウォルズ）	基本ブロック	8	3
	半切ブロック	8	7
	基本コーナーブロック（右）	ー	ー
	基本コーナーブロック（左）	ー	ー
	半切コーナーブロック（右）	ー	ー
	半切コーナーブロック（左）	ー	ー
	端部パネル（2枚入り）	3	1
	端部パネル（10枚入り）	1	1
共通部品	専用接着剤	1	1
笠木（※注1）	天端笠木＜砂岩調＞中間用	1	ー
	天端笠木＜砂岩調＞端部・両端部用	1	1
	石積み調笠木	(4)	(2)
ユニットガーデングッズ	対面テーブル（標準用）／本体セット	1	1
	対面テーブル（プランター用）／本体セット	(1) ※注2	(1) ※注2
	対面テーブル／壁面取付部品セット	1	1
	対面テーブル／上面取付部品セット	1	1
	ラチス窓枠セット／W800×H300	1	ー
	対面テーブル用プランターセット	(1) ※注3	(1) ※注3
	日除け／本体セット	1	ー
	日除け／取付部品セット	1	ー
	T-ブロック用半切プランターセット/両面	ー	1
	T-ブロック用半切プランターセット/片面	ー	(1) ※注4
	パラソルセット	ー	1
	パラソルベースセット	ー	1
梱包数		29	20

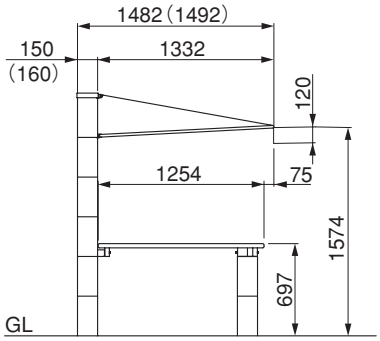
※注1　笠木は天端笠木又は石積み笠木のどちらかになります。
※注2　対面テーブルは標準又はプランター用のどちらかになります。
※注3　対面テーブル（プランター用）を使用するときに必要となります。
※注4　T-ブロック用半切プランターセットは両面又は片面のどちらかになります。

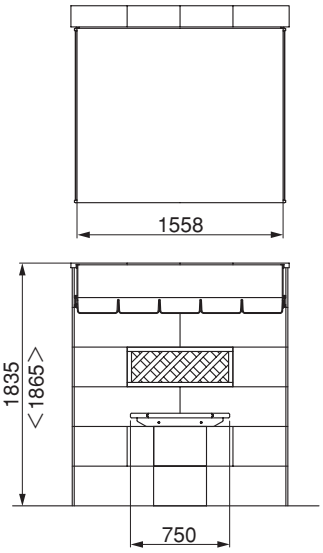
2 乾式施工部材セット

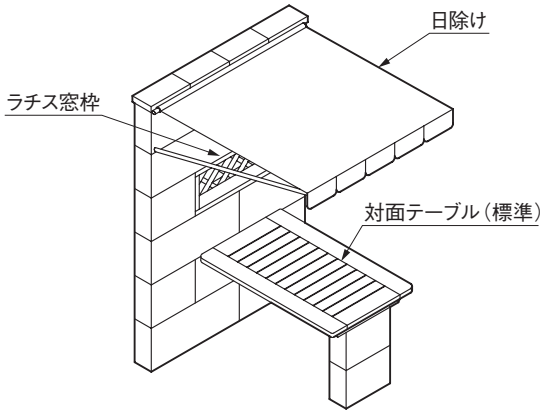
名称		シェードテーブルプラン2	シェードテーブルプラン3
乾式施工部材	柱セット（H：09）	4	2
	柱セット（H：12）	ー	4
	柱セット（H：18）	2	ー
	ベース材・横材セット（W：06）3・4段積用	ー	1
	ベース材・横材セット（W：06）5段積用	2	2
	ベース材・横材セット（W：08）3・4段積用	2	ー
梱包数		10	9

1. シェードテーブル プラン2の施工

1-1 基本寸法図



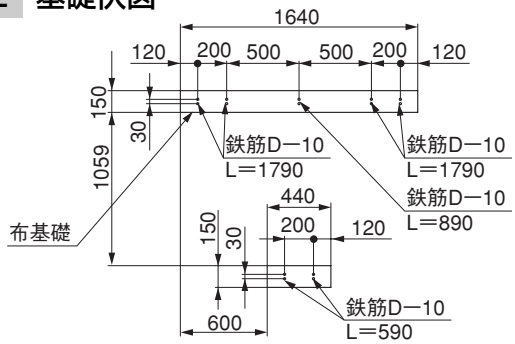




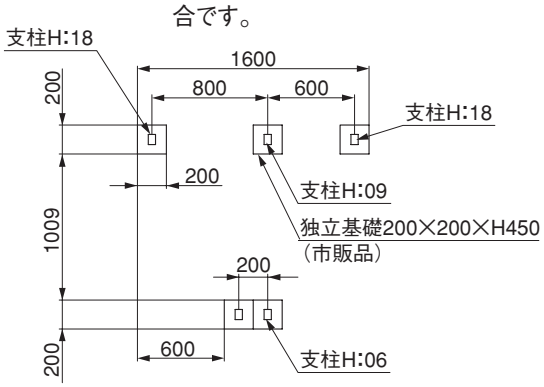
＜注 意＞

- 寸法はラテル、砂岩調笠木を使用した場合です。
- （　）内寸法はウォルズを使用した場合です。
- ＜　＞内寸法は石積み調笠木を使用した場合です。

1-2 基礎伏図



モルタル施工の場合



乾式施工の場合

モルタル施工の場合

❶ 鉄筋（D−10）を上図の寸法の通り配筋して基礎を施工してください。

＜注 意＞

- 基礎断面図については、＜B046＞Tーブロックラテル＆ウォルズ（縮刷版）の塀6段積基礎断面図をご参照願います。

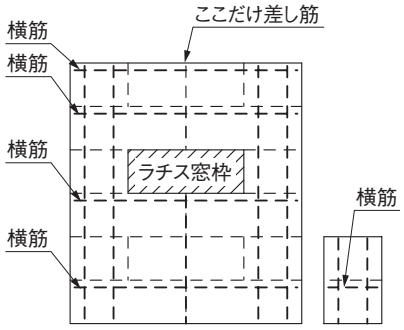
乾式施工の場合

❶ 市販の独立基礎を使用して、上図の寸法になるように支柱を施工してください。

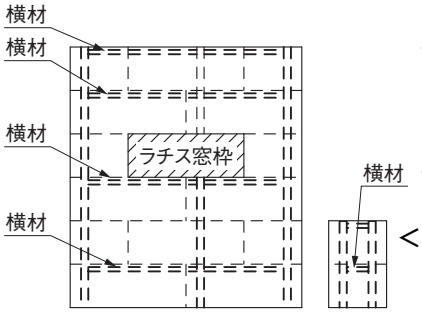
＜注 意＞

- 乾式施工部材の施工に関しては＜B048＞Tーブロックラテル＆ウォルズ用乾式施工部材（埋込用）をご参照願います。

1-3 鉄筋および乾式部材の配置



モルタル施工の場合



乾式施工の場合

モルタル施工の場合

❶ 1・3・4・5段目のブロックに横筋（D−10）を施工してください。

❷ ラチス窓枠の上には、差し筋をして補強してください。

乾式施工の場合

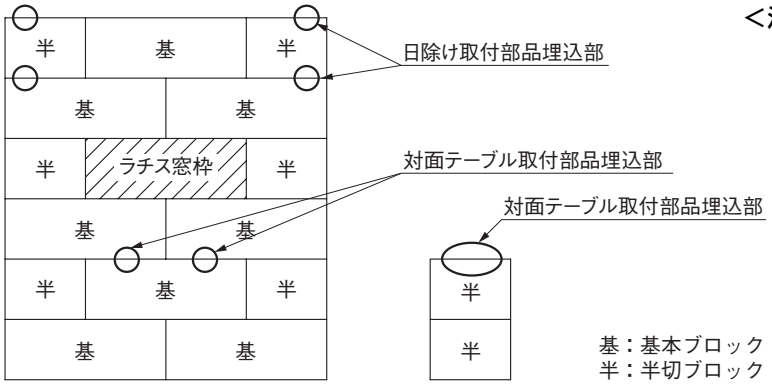
❶ 1・3・4・5段目のブロックに横材を取付けてください。

＜注 意＞

- 横材は全て現場加工が必要です。

❷ ラチス窓枠の上には、支柱を加工して取付けてください。

1-4 ブロックの配置



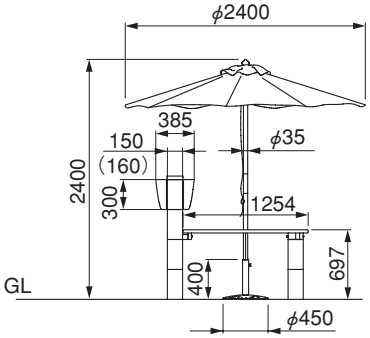
❶ 左図のようにブロックを積み上げてください。

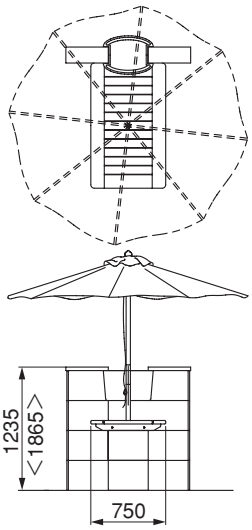
＜注 意＞

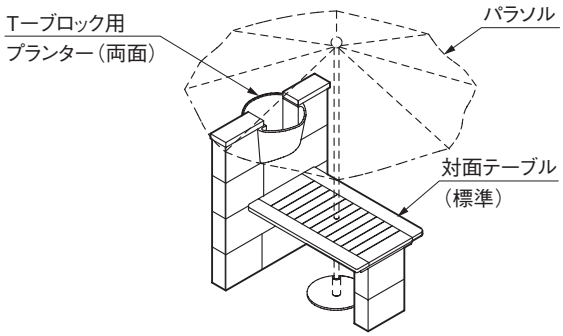
- 丸印部分には日除け・対面テーブルの取付部品を埋め込むため、あらかじめブロックの加工が必要となります。詳しくは＜F178＞ユニットガーデン日除けセット、＜F176＞ユニットガーデン対面テーブルセットをご参照願います。
- ラチス窓枠の施工はブロック施工完了後に行ないますが、あらかじめ＜F181＞ユニットガーデンラチス窓枠セットをご参照願います。

2. シェードテーブル プラン3の施工

2-1 基本寸法図



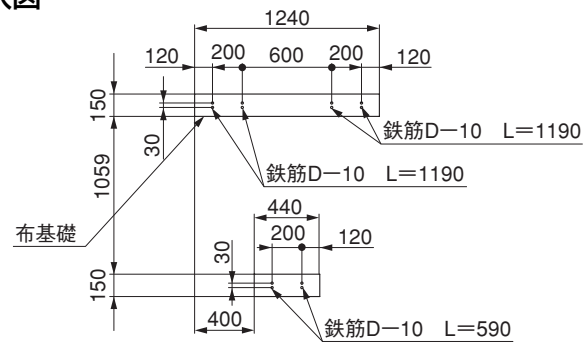




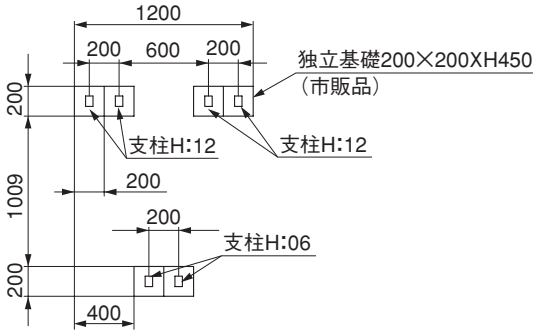
＜注 意＞

- 寸法はラテル、砂岩調笠木を使用した場合です。
- （　）内寸法はウォルズを使用した場合です。
- ＜　＞内寸法は石積み調笠木を使用した場合です。

2-2 基礎伏図



モルタル施工の場合



乾式施工の場合

モルタル施工の場合

❶ 鉄筋（D－10）を上図の寸法の通り配筋して基礎を施工してください。

＜注 意＞

- 基礎断面図については、＜B046＞Tーブロックラテル＆ウォルズ（縮刷版）の塀1～5段積基礎断面図をご参照願います。

乾式施工の場合

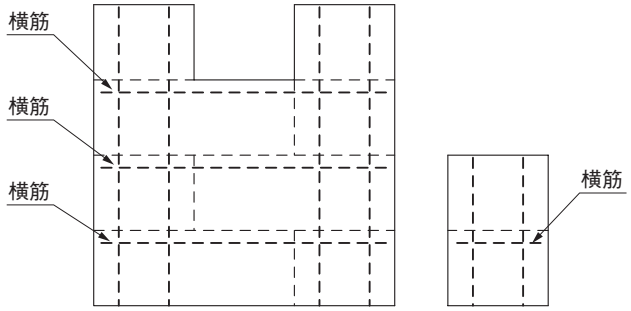
❶ 市販の独立基礎を使用して、上図の寸法になるように支柱を施工してください。

＜注 意＞

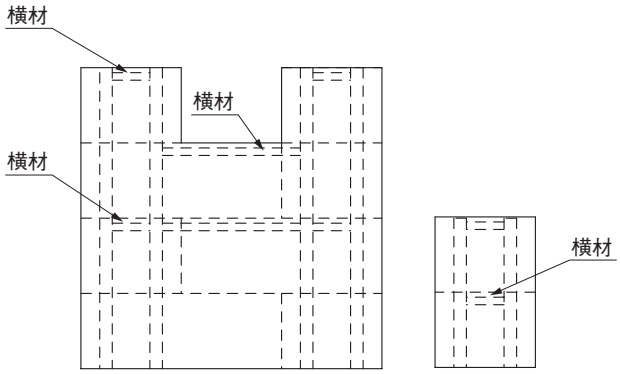
- 乾式施工部材の施工に関しては＜B048＞Tーブロックラテル＆ウォルズ用乾式施工部材（埋込用）をご参照願います。

2. つづき

2-3 鉄筋および乾式部材の配置



モルタル施工の場合



乾式施工の場合

モルタル施工の場合

❶ 1・2・3段目のブロックに横筋（D－10）を施工してください。

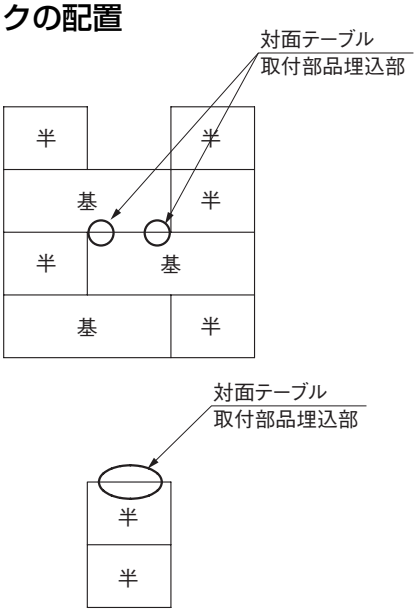
乾式施工の場合

❶ 2・3・4段目のブロックに横材とコーナー部品を取付けてください。

＜注　意＞

- 横材は全て現場加工が必要です。

2-4 ブロックの配置



基：基本ブロック
半：半切ブロック

❶ 左図のようにブロックを積み上げてください。

＜注　意＞

- 丸印部分には対面テーブルの取付部品を埋め込むため、あらかじめブロックの加工が必要となります。詳しくは、＜F176＞ユニットガーデン対面テーブルセットをご参照願います。
- T-ブロック用プランター（両・片面）・対面テーブル用プランターおよびの施工はブロック施工完了後に行ないますが、あらかじめ＜F179＞ユニットガーデンT-ブロック用プランター（両・片面）セット、＜F184＞ユニットガーデン対面テーブル用プランターセット、＜F157＞ユニットガーデンパラソル・パラソルベースセットをご参照願います。

施主様へ

- 使用中ネジのゆるみによるガタツキが生じた場合は、しっかり締め直してください。
- 本体の改造をしないでください。思わぬ破損等によりケガをすることがあります。
- 木材の腐食や変形の原因となりますので、木材表面に故意に傷をつけないように注意してください。
- ゴミ・汚れ等を長期間放置しますと汚れが落ちにくくなりますので、速やかに清掃してください。
- 塗装する場合は木材保護着色塗料（サドリンなどの塗膜をつくらないタイプの塗料）での塗装をおすすめします。木製品の塗装寿命は使用条件や気候条件によりバラツキがあります。1～2年毎に木材保護着色塗装を行なうことをおすすめします。

工事店様へ

- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード
F186
200101A